

裁判員制度

間もなく名簿記載通知を発送

裁判員制度は、平成21年5月21日から施行され、平成22年5月末までに、延べ3,369人の人が裁判員として裁判に参加されています(この期間に判決が言い渡された裁判員裁判は、合計582件です)。

国民のみなさんの積極的な参加により、裁判員制度は円滑に実施されています。みなさんのご協力なしには成り立たない制度ですので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

裁判員候補者名簿記載通知について

平成23年の裁判員候補者名簿に登録された人には、11月中旬に名簿に記載されたことの通知を発送します。

この通知は、来年2月ごろから平成24年2月ごろまでの間に裁判所にお越しいただき、裁判員に選ばれる可能性があることを事前にお伝えし、あ

広報いんざい市長室

山崎山洋



第65回国民体育大会(ゆめ半島千葉国体2010)も、10月5日の総合閉会式をもって終了しました。一面でも紹介したとおり印西市では山岳競技が行われ、競技期間中、市内外から多くのみなさんがいらっしゃいました。観戦者は山岳競技に精通する人も初めて見る人も、頂点を目指して競い合う選手の一挙手一投足に注視し、その登はんの成否を選手のように一喜一憂し、感動していました。3日間の盛況はこの大会の大成功を意味していると思います。

成功の要因の一つとして、総合体育館に高度な山岳技術を競いあえる充実した施設を備えていることがあります。6月のリハーサル大会と今大会をとおし、競技関係者からは競技施設に対して日本一との評価をいただきました。今後、この施設を最大限活用できるよう、ワールドカップなどの開催ができればと考えています。また11月以降になりますが、一般のみなさんの利用も開始になります。体力と健康の増進や練習のために、多くの人に使用していただき、山岳競技がより広く普及することを願っています。

大会が円滑に行われたもう一つの要因として、大会に携わった人々の協力があります。ゆめ半島千葉国体印西市実行委員会、(社)日本山岳協会、千葉県山岳連盟、ボランティアのみなさんなど、多くのみなさんの協力によって成功に導かれたといっても過言ではありません。ありがとうございました。常陸宮同妃両殿下が、大会初日に競技をご覧になりました。両殿下はお帰りの際に「準備に携わったみなさんに、ありがとうございますと伝えてください」とおっしゃっていました。両殿下の感謝のお言葉は、ごく自然な言葉ですが、温かく思いやりに満ちたものを感じました。

また、通知と一緒に調査票をお送りします。この調査票は、明らかに辞退が認められる場合などには裁判所へお越しいただくことがないよう、裁判員候補者の負担を軽減す

るために送るものです。お尋ねする項目に当てはまらない人は、返送していただく必要はありません。なお、辞退の申し出ができる時期や期間に制限はありません。実際の事件の裁判員候補者に選ばれた際にお送りする質問票で辞退を申し出いただくことも、裁判の当日(選任手続き時)に辞退を申し出いただくことも可能です。

※前回、日本医科大学千葉北総病院を日本医科歯科大学病院と誤って表記してしまいました。おわびして訂正します。

力をお願いします。詳しくは裁判員制度ウェブサイトをご覧ください。裁判員制度ウェブサイト: <http://www.saibanin.courts.go.jp/> 千葉地方裁判所事務局総務課(☎043-222-0165・内線5114)。

11月12日(金)〜25日(木)

女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日〜25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。



▶女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

また、男女共同参画社会を形成していく上でも克服すべき重要な課題でもあります。市では、毎月第1・第3木曜日に、専門の女性カウンセラーによる「女性の悩み相談」を実施しています(詳しくは11ページ参照)。また、DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者が緊急に避難する際の金銭的支援も行ってい

ます(要相談)。千葉県でも、各種相談窓口を設けています。一人で悩まず、左記までご相談ください。【千葉県の相談窓口】《女性専用》

●女性サポートセンター(24時間365日電話相談可) ☎043-206-8002

●ちば県民共生センター(電話相談) ☎04-7140-8605

●印旛健康福祉センター(DVのみ) ☎043-483-0711

《男性専用》

●ちば県民共生センター ☎043-285-0231

※相談方法、詳しい日時などは、各機関でご確認ください。子育て支援課子育て支援班(☎内線244)。

全国消防操法大会に 印西市消防団が出場

消防団の消防操法技術を競い合う全国消防操法大会が愛知県で開催され、千葉県の代表として、印西市消防団印旛支団第四分団第十部(大廻・造谷地区)が出場します。

この大会で競技される消防ポンプ操法は2種類あり、それぞれ半数ずつ都道府県の代表隊が出場。今回、千葉県は持ち運び可能な小型動力ポンプを使用した「小型ポンプ」

の部での出場が割り当てられています。出場する印西市消防団は、市の選考会や印旛支部大会、千葉県大会のすべてで優勝。現在も全国大会に向け、日々訓練を重ねています。

●開催日: 11月12日(金) ●会場: 愛知県蒲郡市・蒲郡競艇場駐車場。

●防炎課防炎班(☎内線456〜459)。

印西市合併記念事業(市民提案事業)を決定

市では、新市が速やかに一体となり市民のみなさんが互いに親睦を深め、共に新市の誕生を祝っていただくことを目的に実施される合併記念事業(市民提案事業)について、本年7月1日から8月31日までに募集を行い、以下のとおり決定(採択)しました。

これらの事業については、今後、合併記念事業補助金の対象事業として、市内の各所で行われます。詳しくは、各事業の実施時期に合わせてお知らせする予定です。 行政管理局新市移行調整班(☎内線462)。

●印西市合併記念事業一覧●

Table with 2 columns: 名称 (Name) and 実施時期(予定) (Implementation Period (Planned)). It lists various commemorative events such as 'New City Birth Anniversary' and 'Inzei Men's Forum' with their respective dates.

※コスモス里山まつりは、行事が終了しました。

佐藤めぐみ氏が教育委員会委員に

市では、9月定例議会の同意を受けて、10月1日付けで教育委員会委員に佐藤めぐみ氏(大森)を任命しました。佐藤氏は、成田市立吾妻中学校、印西市立木刈中学校、白井市立桜台中学校の各中学校で教諭を務めた後、印西市・印旛村・本埜村合併協議会で委員として活躍されました。また、市内小・中学校に通学する児童・生徒の保護

者でもありません。今後、佐藤氏には、教員としての経験を生かし、特に児童・生徒の保護者の意向を教育行政に適切に反映させていくことが期待されます。また、印西市教育委員会では、10月1日に現委員の篠田幸代氏、砂田直規氏、今野紀子氏および小野寺正教育長と佐藤氏の5人により教育委員会定例会を開催。委員長に篠田氏、委員長職務代理者に砂田氏を選任しました。



佐藤教育委員

なお、この度退任された稲葉美智氏には、教育行政に多大なるご尽力をいただきました。 教育総務課総務班(☎98113)。